

学校でボランティア活動をするあなたへ・・・

# ボランティア研修会



神戸市教育委員会 教育・地域連携センター主催(平成30年度)

教育・地域連携センターでは、「学校で子供たちを支援するボランティア活動」に焦点を絞り、ボランティア研修会を開催します。すでに活動されている方々や、これから始めようとしている方々の今後の学校での支援活動に役立てていただければと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

■内容と日時：本紙裏面を参照 ※講座は全て、申し込み先着順です。

■対象：・学生スクールサポーター、特別支援教育支援員、神戸っ子応援団など、学校で子供たちを支援するボランティア活動に取り組んでいる方  
・これからボランティア活動を始める方（一般の方々・学生の方々など）

■定員：※「学校支援ボランティア講演会」100名程度  
※研修会①、③、④、⑤、⑦ 50名程度  
※研修会②「学校へ行こう！①」（特別支援学級の訪問・小学校）定員20名程度  
※研修会⑥「学校へ行こう！②」（国際教室の訪問・小学校）定員20名程度  
※応募者多数のため参加をお断りする場合のみ、こちらからご連絡させていただきます。

マナビィ単位  
認定制度の対  
象だよ。



■参加費：無料

■申し込み：下のいずれかの方法で、受講日の5日前までにお申し込みください。



- ①ファックス（本紙裏面に必要事項を記入して）
- ②電話
- ③電子メール（アドレスは下のとおり）  
otonaryoku@office.city.kobe.lg.jp  
左のQRコードからアドレスを読み込めます。

■その他：・講座の内容はそれぞれに独立したものです。（興味のあるものに参加してください。）  
・研修を受講された方々に対して、修了証を出したり、活動先を紹介したりするものではありません。

■場所：教育・地域連携センター 研修室  
神戸市長田区二葉町7-1-18 ふたば学舎2階  
地下鉄海岸線「駒ヶ林駅」より6分 地下鉄・JR「新長田駅」より12分



お問い合わせ

神戸市教育委員会事務局総務部地域連携推進課  
教育・地域連携センター

教育・地域連携センター

検索

〒653-0042 神戸市長田区二葉町7-1-18  
ふたば学舎2階

TEL : 078-641-5013 FAX : 078-641-5015

E-mail : otonaryoku@office.city.kobe.lg.jp

※この研修会は、市民の皆さまの生涯学習活動を応援する「マナビィ単位認定制度」の対象となっています。  
学習の記録用紙（パスポート）をお持ちの方はご持参ください。

下の太枠内に必要事項を記入の上、本紙をそのままファックスで送信してください。

教育・地域連携センターあて

FAX : 078 - 641 - 5015

受講を希望されるものに、○印を入れてください。

お名前	
電話番号・FAX番号	
ご住所	
メールアドレス(あれば)	
学校でのボランティア経験	1年以上の経験あり ・ 1年未満の経験あり ・ なし
現在活動中(活動予定)の学校	

※頂いた個人情報は、この研修以外の目的には使用しません。

## 1. 学校支援ボランティア講演会

申し込み	日時	「講座名」と「主な内容」
	6月3日(日) 14:00~16:30	<b>「特別支援教育を指導・支援にいかす」</b> 【講師 関西国際大学 百瀬准教授】 特別支援教育を指導・支援にいかすとはどういうことかを考えます。

## 2. 学校支援ボランティア研修会

①	6月19日(火) 14:00~16:00	<b>特別支援学級に在籍している子供への支援</b> 特別支援教育と児童生徒についてお話しします。 【講師：特別支援教育課 指導主事】
②	7月4日(水) 10:00~12:00	<b>学校へ行こう！①（特別支援学級の訪問） 神戸祇園小学校</b> 特別支援学級の児童の様子や先生の児童への接し方を見学します。（定員は20名程度）
③	7月12日(木) 14:00~16:00	<b>通常の学級に在籍している発達障害のある子供への支援</b> 通常学級に在籍している配慮の必要な子供への支援についてお話しします。 【講師：特別支援教育課 指導主事】
④	8月7日(火) 14:00~16:00	<b>学校支援ボランティアと多文化共生～多様な子供たちを支援するために～</b> 外国人児童生徒がいる学校の様子や多文化共生を理解するとともに、学校支援ボランティアの役割を考える。 【講師：学校教育課 指導主事】
⑤	8月29日(水) 14:00~16:00	<b>日本語の分らない児童生徒への支援～多様な子供たちを支援するために～</b> 学校には、日本語以外の言語で過ごしている児童生徒も勉強しています。日常生活の日本語は分っても、授業中の先生の言っていることは分らないこともあります。そんな子供の支援をするには……。 【講師：学校教育課 指導主事】
⑥	9月 日( ) 日時未定	<b>学校へ行こう！②（国際教室の訪問） 港島学園</b> 生徒への接し方を見学します。（定員は20名程度）
⑦	10月 日( ) 日時未定	<b>こんなときどうする？（事例研修&amp;交流会）</b> 当センターに寄せられた事例などを紹介し、みんなで考え、交流しましょう。

※講演会・研修会は、市民の皆さまの生涯学習活動を応援する「マナビィ単位認定制度」の対象となっています。学習の記録用紙（パスポート）をお持ちの方はご持参ください。